



## 原油が5日続伸、EIAが需要見通しを上方修正

12日朝方の国内商品先物市場で、原油は5日続伸して取引を始めた。取引量が多い11月物は1キロリットル7万7000円と前日の清算値に比べ450円高い水準で寄り付いた。米エネルギー情報局（EIA）が11日発表した短期エネルギー見通しで、2024年の世界の石油消費量について中国やインドがけん引するとして見通しを引き上げ、国内原油先物に買いが入った。

ニューヨーク原油先物相場は6月上旬から上昇基調にある。加えて、市場では「米国でガソリン需要が高まる時期に入るということもあり、需要面での材料に反応しやすくなっている」との指摘もあり、国内原油先物の買いにつながっている。



## 円相場、上昇し157円台前半 欧州の政治懸念でユーロ安

12日早朝の東京外国為替市場で、円相場は上昇している。8時30分時点は1ドル=157円15~17銭と前日17時時点と比べて19銭の円高・ドル安だった。前日の米債券市場で長期金利が低下し、日米金利差の縮小を背景にした円買い・ドル売りが優勢となっている。

11日は米財務省が実施した10年債入札が堅調な結果と受け止められ、流通市場でも需給の引き締まりを意識した米債買いが入った。米長期金利の指標となる10年物国債利回りは一時4.39%と、前日に比べ0.08%程度低下した。6~9日投開票の欧州議会選の結果を受けて欧州の政治情勢が不安定化するとの警戒から、安全資産として米国債を買う動きもあった。米金利が低下し、円買い・ドル売りが入った。

12日は5月の米消費者物価指数（CPI）と米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果発表、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長の記者会見を控える。その内容を見極めたいとして、売買は鈍くなっている。

円は対ユーロでも上昇している。8時30分時点は1ユーロ=168円77~80銭と、同58銭の円高・ユーロ安だった。欧州政治への懸念からリスク回避のユーロ売りが出ている。ユーロは対ドルでも下落。8時30分時点は1ユーロ=1.0739~40ドルと同0.0024ドルのユーロ安・ドル高だった。



## テレワーク用ブース、屋外に ブイキューブ系が開発



国道沿いのコインランドリー（愛知県安城市）に併設した「テレキャビン」

ブイキューブ子会社のテレキューブ（東京・千代田）は屋外に設置できるテレワーク向け個室ブースを開発した。耐久性を高めた発泡スチロールを壁材に使い、天候の影響を受けにくくしたのが特徴だ。ゴルフ場やキャンプ場などに販売し、従来の屋内向け製品よりも設置エリアを広げることで新たなテレワーク需要を掘り起こす。

新商品の名称は「テレキャビン」。屋外駐車場や鉄道の高架下、ゴルフ場、キャンプ場といった施設の運営会社に販売し、敷地内に設置してもらう。オンライン会議に参加するときや1人で仕事に集中したいときなどの使い方を想定している。

例えば「ゴルフ中に少しでもウェブ会議をしたい」「アミューズメントパークにいて仕事の電話がかかってきたときに静かに話せる場所がほしい」などの需要があり、屋外型を開発した。

テレワーク向けの個室ブース「テレキューブ」の販売が始まったのは2017年だ。新型コロナウイルス下でリモートワークが広がったことから急成長し、足元の設置台数は2万7000台に達した。

ただ、従来の個室ブースは基本的にオフィスビルや商業施設、駅ナカなどの屋内に設置場所が限られていた。複数の金属パネルを箱形に組み立てる構造のため、雨漏りや隙間風、さびの発生などを防ぐのが難しいという弱点があった。



# ウメモト インフォメーション



2024年 6 月 12 日 担当 ジョン

テレキャビンでは、複数の発泡スチロール板を筒型に張り合わせる構造に変更した。従来製品に比べて密閉性が高く、雨風に強いほかエアコンによる暖冷房効率も向上させたという。筒型にすることで、強風が当たっても横に受け流すことで転倒を防ぐ仕組みだ。出入り口のドアはねじれに強いアルミ製とした。

外壁の劣化を防ぐための工夫も施した。乾くと硬度が増す合成樹脂「ポリウレタ樹脂」を壁の外側に塗布して強度を高めた。屋外に個室ブースを置いた場合、外気と内気の寒暖差が大きく結露しやすいため、壁の内側には吸水効果のある珪藻（けいそう）土を塗った。

コロナ禍後も人手不足などを理由に働き方改革を続けている企業が目立つ。テレキューブは一段と高まるテレワークの需要を取り込み、27年までにテレキャビンの販売台数で累計1000台をめざす。



## 愛知県、10月から自動運転車を定期運行 名古屋市内で



愛知県は10日、10月から名古屋市内で自動運転車両の定期運行を始めると発表した。同月に開業する県の新興育成拠点「ステーションAi」と名古屋駅付近を結び、ステーションAiの施設利用者を運ぶ。県によると、交通量が多い都市部の幹線道路で一般車両と同じような速度で走る自動運転車両の定期運行は全国初という。

定期運行はNTTドコモなどの企業グループに委託する。北米を中心に35万回以上の自動運転走行の実績を持つ米メイ・モビリティの日本法人が車両を提供し、名鉄バスが運行支援を担う。車両はトヨタ自動車のミニバン「シエナ」をベースにした車両1台を使う。運転席に人が乗り、状況に応じて操作する「レベル2」の自動運転となる。

10月から2025年3月中旬までの平日に1日6往復を運行する。運行ルートは名古屋駅付近とステーションAiを結ぶ若宮大通を中心とした公道で、乗客はステーションAiの施設利用者に限る。事前予約制で料金は無料。1便に5人程度乗れる。運行ダイヤや発着場所、予約方法など詳細は今後詰める。

県は16年度に自動運転の実証実験を始めた。23年12月には制限速度上限が時速60キロメートルの若宮大通を一般車に交じって走行した。大村秀章知事は10日の記者会見で「自動運転のさらなる高度化、社会実装をめざした取り組みを加速する」と強調した。



## ②アスファルト合材

### 需給概況

アスファルト合材 需給動向		
地域	時期	動向
東日本	6月上旬	やや緩い
西日本	6月上旬	やや緩い

※東日本は、北海道、東北、関東甲信。西日本は、中部、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄。

6月上旬の合材需給は、東日本、西日本ともにやや緩い。需要低迷が続く反面、製油所出しの供給が潤沢で合材の供給にも余剰感が強い。

ストアスの供給は、コスモ石油の四日市製油所(日量8万6,000バレル)出しが増勢となる他、昭和石油の四日市製油所(同25万5,000バレル)の供給も潤沢。コスモ石油と出光興産による海上転送に支障がなく、各地の油槽所のストアス在庫は積み上がる傾向にある。道路舗装会社は「首都圏、関西の他、東北と中国地方で合材の出荷が前年の水準を下回っており、工場の回転率は悪化している」伝えている。

道路舗装会社が舗装工事で指定されていない再生合材を使用していた問題では、NIPPOに続き、鹿島道路が高速道路など一部の工事で再生骨材入りの合材を使用していたことが明らかとなった。阪神高速道路や山陽自動車道路などの工事を含め、同社がこれまでに実施した9件が該当工事とみなされた。これらの工事向けに合材を出荷した泉大津合材製造所、神戸合材製造所、広島アスコン、福岡合材製造所では、鹿島道路が合材の製造を一時的に停止して品質管理を含む調査を進めている。

一方、NIPPOは首都圏において、東京国際空港、首都高速道路、横浜横須賀道路など複数の舗装工事を続けている。ただ、これらの工事向けには、指定のない再生合材を供給していた川崎シーサイドアスコンと横浜ベイアスコンではなく、京葉アスコンなど同社の他工場で製造された合材を供給しているようだ。「NIPPOは工事により他社から合材を購入して工事に充てているケースもある」(ストアス販売会社)。



## 需給トピックス

新型コロナの緊急事態宣言の解除後に、訪日外国人観光客が急増している現状を踏まえ、空港会社が滑走路や誘導路の新設、改良工事を積極化している。大型プロジェクトとして長期間、検討が重ねられてきた案件に加え、小規模な修繕を含め舗装工事の発注が増えている。

### 成田国際空港、滑走路と誘導路の修繕工事を実施へ

成田国際空港は8月9日開札で、成田国際空港のA滑走路北側HB整備工事、A1・A誘導路改修工事およびK・C誘導路補修舗装工事を対象とした一般競争入札を開示した。今回の工事では主に、切削オーバーレイ工事により合計約25万平方メートルの滑走路や誘導路の路面の修復を行う。およそ3万トン強の改質合材の使用が見込まれている。成田国際空港が実施する舗装工事は、前田道路、大成ロテック、鹿島道路、世紀東急工業といった成田国際空港に近い地域に合材工場を構える道路舗装会社が受注するケースが多い。

### 新千歳空港、誘導路の新設工事進む

北海道開発局が3月7日に開札した新千歳空港の末端取付誘導路新設外工事では、地崎道路が落札し、すでに工事に着手している。今回の工事では、現行のAおよびB滑走路と平行して設置されているD誘導路とを南北に繋ぐ誘導路を新設し、発着便の増加に対応する。除雪作業などにより滑走路が一時的に閉鎖し、遅延や欠航が発生していることから、誘導路等を設けて安定運航を図る狙いもある。舗装面積が約2万8,000平方メートルの今回の工事では、改質合材をおよそ4,000トンが使用される予定となっている。



## 週間原油コストの推移

	期間	原油相場		為替レート (▲は円高)		円建て原油コスト	
		ドル/バレル	前週比	ドル/円	前週比	円/ℓ	前週比
火曜日～ 月曜日	4/30～5/6	86.49	▲ 3.19	158.00	1.75	85.95	▲ 2.18
	5/7～5/13	84.54	▲ 1.95	156.28	▲ 1.72	83.09	▲ 2.86
	5/14～5/20	84.51	▲ 0.03	156.66	0.38	83.27	0.18
	5/21～5/27	83.54	▲ 0.97	157.75	1.09	82.88	▲ 0.39
	5/28～6/3	83.65	0.11	158.18	0.43	83.22	0.34
	6/4～6/10	79.38	▲ 4.27	157.07	▲ 1.11	78.42	▲ 4.80
水曜日～ 火曜日	5/1～5/7	85.62	▲ 4.27	157.07	0.31	84.58	▲ 4.04
	5/8～5/14	84.53	▲ 1.09	156.73	▲ 0.34	83.32	▲ 1.26
	5/15～5/21	84.55	0.02	156.69	▲ 0.04	83.32	0.00
	5/22～5/28	83.32	▲ 1.23	157.84	1.15	82.71	▲ 0.61
	5/29～6/4	83.01	▲ 0.31	158.08	0.24	82.53	▲ 0.18
	6/5～6/11	79.93	▲ 3.08	157.25	▲ 0.83	79.05	▲ 3.48

※原油はドバイ、オマーン平均、為替レートは三菱UFJ銀行のTTSレート